

二柱式橋脚の設計・3D配筋 (部分係数法・H29道示対応) ／(旧基準)

はり無し二柱式橋脚の安定計算及び柱・フーチングの設計計算プログラム

H29道示対応
プログラム価格
¥385,000
(税抜¥350,000)

旧基準
プログラム価格
¥292,600
(税抜¥266,000)

Windows 10/11対応
3DA対応
電子納品 3D PDF
有償セミナー

はり無し二柱式モデルに対応した設計計算プログラムです。新設・既設・補強設計が可能で基礎製品との連動及び安定計算及び柱・フーチングの部材設計に対応しています。

- 柱平面形状: 矩形、小判形、円形
- 常時、L1地震時の安定計算 (杭基礎時は連動により対応)
- データ連携: 「基礎の設計」との連動設計、Engineer's Studio®データファイルのエクスポートが可能

部分係数法・H29道示対応

【H29道示改訂での橋脚の設計に関連する主な項目】

- 部分係数の導入 (従来への割増係数を考慮した許容応力度の廃止、応力度の制限値として規定)
- 耐荷性能に関する部材の設計 (限界状態に応じた照査項目)
- 耐久性に関する部材の設計 (内部鋼材の防食、部材の疲労)

【他製品との連動】

- 「震度算出 (支承設計) (部分係数法・H29道示対応)」の設計水平震度と連動
- 「基礎の設計・3D配筋 (部分係数法・H29道示対応)」の基礎の照査と連動

改訂内容

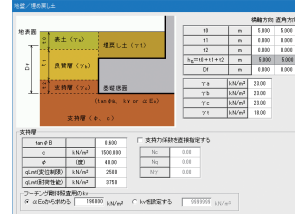
2023年6月29日リリース

1. 図面生成、3D配筋生成に対応
2. BIM/CIM機能強化
3. 従来製品からの機能拡張
4. その他の機能拡張

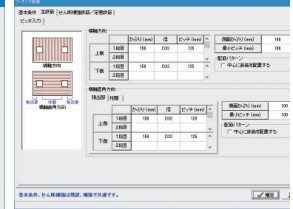
旧基準

- 常時、L1地震時の許容応力度法による柱部材、フーチング部材の照査
- レベル2地震時の保有水平耐力法による柱部材、フーチング部材の照査

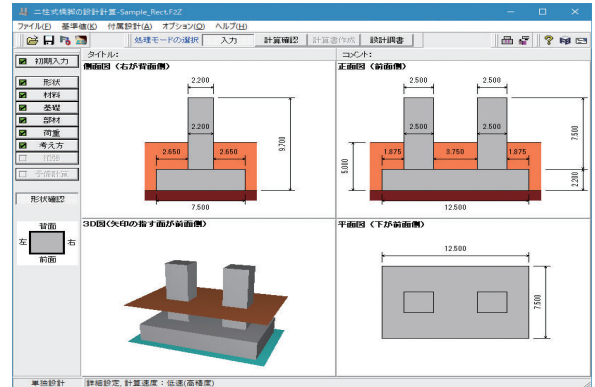
▼地盤/埋戻し土入力画面



▼フーチング鉄筋画面



▼メイン画面



RC下部工の設計・3D配筋 (部分係数法・H29道示対応) Ver.3 ／(旧基準) Ver.3

「ラーメン橋脚の設計・3D配筋 Ver.3」の拡張版。ラーメン式橋脚、橋台など下部工、BOX、擁壁などのRC構造物の設計計算およびラーメン式橋脚の図面作成プログラム

H29道示対応
プログラム価格
¥836,000
(税抜¥760,000)

カスタマイズ版
プログラム価格
¥715,000
(税抜¥650,000)

RC下部工の設計計算
(旧基準) (作図機能無)
¥546,700
(税抜¥497,000)

RC下部工の設計計算
(部分係数法・H29道示対応)
(作図機能無)
¥726,000
(税抜¥660,000)

旧基準
プログラム価格
¥623,700
(税抜¥567,000)

計算・CAD統合
3D配筋対応

Windows 10/11対応
3DA対応
電子納品 SXF3.1
IFC 3D PDF
有償セミナー

ラーメン橋脚、張り出し式・壁式橋脚、逆T式・重力式橋台、2連・1連BOX、逆T式・L型擁壁の直接基礎、杭基礎をサポートします。とりわけ、ラーメン橋脚の設計機能が充実しており、杭基礎保有耐力、面内保有耐力照査など震度法から保有耐力法までの詳細設計が可能です。

- RC構造物設計計算の統合環境を提供: 2柱~4柱式ラーメン橋脚、張り出し式・壁式橋脚、逆T式・重力式橋台、2連・1連BOX、逆T式・L型擁壁
- 杭基礎保有耐力、ラーメン橋脚面内保有耐力、震度法から保有耐力法までの詳細設計が可能
- 出力: ラメン橋脚はF8-PPF出力、単柱橋脚・橋台・擁壁・カルバートはHTML出力、設計調書 (下部工設計調書などラーメン橋脚、橋脚、橋台、擁壁) に対応
- Engineer's Studio®エクスポート (ラーメン橋脚): 「Fibre」のほか、「はり (M-φ) + 柱 (Fibre)」、「M-θ」など各モデル化のエクスポートにも対応
- 対象構造物は3DSモデル出力ができ、UC-win/Roadで利用することが可能

部分係数法・H29道示対応

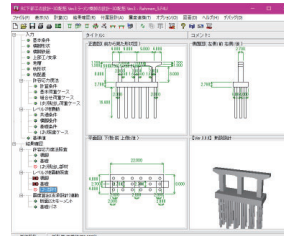
- H24道示対応「ラーメン式橋台の設計計算 (旧基準)」のデータ読み込みに対応
- ラメン部材 (前壁、後壁、頂版、桁受台、底版中央部) のほか、前後趾、胸壁、翼壁等の部材照査が可能
- ラメン部材の隅角部では、端接合部の照査が可能
- 部分係数データをファイルに保存し、H29道路橋示方書対応製品間連携可能
- 橋台単独で永続変動作用時の杭基礎照査が可能
- 杭基礎製品との連動において、2次元解析及び2.5次元解析に対応

Ver.3 改訂内容

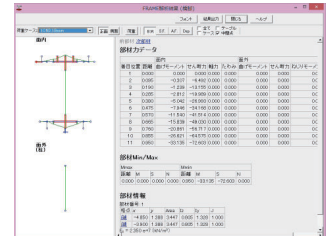
2022年2月28日リリース

1. 杭基礎設計便覧 (令和2年9月) に対応
2. 照査結果を制限値比で表示する機能を追加
3. 「震度算出 (支承設計)」連動時の計算書統合出力に対応

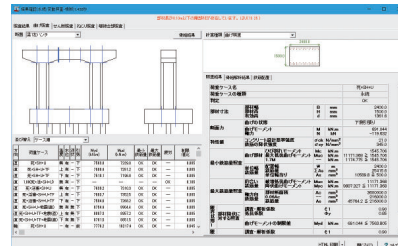
▼メイン画面 (設計計算部)



▼FRAME解析結果



▼ラーメン式橋脚の躯体の永続/変動作用支配状況の照査結果画面 (H29)



▼単柱式橋脚のレベル2地震動照査 (保耐法照査) 結果画面 (H29)

